

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 7年 3月 4日

事業所名 フレンズ坂東

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	6			使わない机や椅子は収納し、自由に体を動かすことのできるスペースの確保に努めています。また休校日には公園や体育館を利用し、体を動かす活動を取り入れています。	
	②	職員の配置数は適切である	3	2	1		法定人数は確保していますが、もう少し職員が増えるとさらに手厚い支援に繋げることができると思います。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	4	2		建物の構造上完全バリアフリー化は難しい状況です。職員が考慮しながら、支援対応しています。	
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	5	1		活動やイベント行事等において、職員間で振り返りを行い、意見交換することで、今後の支援の改善に努めている。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	5	1		集計したアンケート結果はすぐに確認し共有し、改善に努めています。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	5	1			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	1	4	1		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	5	1		法人全体で3か月に一度社員を対象とした研修に取り組んでいます。(虐待防止や事例検討会)希望職員にはオンラインでの外部研修を受ける機会があります。	
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	6			保護者や学校と共有した情報や事業所での様子をもとに、事業所内支援会議をし、児発管の主観だけではなく、他の職員の意見を取り入れながら作成しています。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	3	3			今後アセスメントツールも活用していきたいと思います。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1		各職員が案を出し合い立案しています。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	6			活動プログラムの内容が類似する場合には、季節の行事や利用者の関心事に合わせてアレンジしています。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	6				
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせる放課後等デイサービス 計画を作成している	6			保護者や関係機関との情報共有をもとに、個別指導やペア指導、少人数集団指導等、状況に応じて対応しています。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	6			各職員出勤時間が異なる為、連絡ノートを用いて児童の情報を把握することができるよう情報共有しています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1		必要に応じて話し合いをし、話題に上がったことは連絡ノートにまとめ職員全員が情報共有できるようにしています。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			正確な支援に繋げる為、できる限り細かく記録することができるよう心掛けています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6				
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	5	1		幅広い支援活動を心掛け、運動スキルやコミュニケーションスキルの向上に努めています。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	1		学校送迎時に担任の先生やデイの担当者との情報共有をしています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		3	3		医療的ケアのできる職員が勤務することがなく、受け入れたことがありません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2		相談支援専門員を通しての情報共有をしています。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	3		相談支援専門員を通しての情報共有をしています。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	5		オンラインでの研修への積極的な参加を心掛けています。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	2	3		学童や児童館を利用をしている児童との交流はしていません。本人・保護者・相談員さんと慎重な検討が必要だと思います。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	3	2		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	2		送迎時や連絡帳、LINE等の連絡ツールを活用し、情報共有・共通理解することができるよう心掛けています。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	3			
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			ご契約時に説明をしています。契約時以外にも不明点や相談があった際には、迅速な対応を心掛けています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			保護者からの相談や質問があった場合は、即日対応させていただいております。こちらがどのような様子だったか伝え、一緒に考えさせていただいております。	
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	1		6月に見学会の実施をしました。保護者同士の連携とまではいかず、課題が残りました。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1			
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			ホームページには自己評価表の結果やSNSのリンクを掲載しております。連絡先やイベント、活動内容についてはLINEでのお知らせや、VOOM機能を活用しお知らせしております。	
	③⑤	個人情報に十分注意している	6				
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	3		
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6			事務室内にマニュアルを貼り、全職員が周知できるようにしています。保護者には契約時に避難場所や協力病院や緊急時引き渡しについて説明させていただいております。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			茨城県の研修やオンライン研修、法人の全体研修に参加しています。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6				
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1		(医師→保護者→事業所) 保護者からの聞き取りにて対応しております。	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	2			

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表:令和 7年 3月 4日

事業所名 フレンズ坂東 保護者等数(児童数) 26 回収数 24 割合 92.3%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	23	3			
	②	職員の配置数や専門性は適切である	19	7			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	19	7			
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	25	1			
	⑤	活動プログラム が固定化しないよう工夫されている	25	1		工作物が可愛らしく、毎週楽しみにしています。季節の行事も取り入れられている為、子どもも分かりやすい。	ありがとうございます。毎月スタッフで案を出し合いスケジュールを組んでいます。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	11	10		
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26				
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている	26			送迎時にどの方も1日の様子や体調など、細かく話してくれてとても助かっている。	高い評価ありがとうございます。引き続き送迎時であったり、LINE等の連絡ツールも活用しながら共通理解し、支援を進めていくことができるよう努めていきます。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	23	3			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	6	10	10		
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	24	2		苦情を言ったことがないから、分からない。	保護者の方からのご意見に対しましては、社内で話し合い、検討させていただいております。苦情・相談窓口につきましては、重要事項説明書に詳しく記載してありますので、ご確認ください。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	26				
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	23	2	1	連絡がLINEに変更になってから、見やすくなったので、よかったです。返信のしやすさもいいと思います。	ホームページには自己評価表の結果やSNSのリンクを掲載しております。イベントや活動内容、その他情報についてのご案内は昨年よりLINEでのご連絡に変更させていただいております。継続していきたいと思っております。
⑭	個人情報に十分注意している	25	1				
非常時 等	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明 されている	23	3			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
の 対 応	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	25	1			
満 足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしている	25	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜日はお弁当を用意していると「フレンズおべんとう」と何回も確認しにきます。色々なイベントやおでかけ活動を通して成長を感じます。</li> <li>・日に日に上達していく作品を持ち帰って成長を感じます。普段出かけられない所にも連れて行っていただき、子どもたちも楽しく通わせていただいております。</li> </ul>	嬉しいお言葉ありがとうございます。これからもお子様たちに楽しんで通所していただくことができるよう、日々の活動やイベントの計画をしていきたいと思っています。
	⑱	事業所の支援に満足している	25	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもと事業所」という点では満足しています。家と学校以外の安心して過ごせる場所としてとても良い。</li> <li>・昨年6月の見学会がとてもよかった。今までなかったもので、フレンズでの子ども様子や、他の子との関係など直接見ることによって、新しい発見や喜びがありました。送迎時に話は聞きますが、直接見ることによって、安心感や信頼感が増すのではないかと思います。</li> <li>・最近ニュースで障害児(者)の施設での事件等がとりあげられることが多くなり、そんな悲しい事件が起こることのないよう、お互い密に連絡を取り合いやっていきたい。できれば、「子とフレンズ」だけでなく、「親とフレンズ」の支援の場も設けて欲しい。</li> <li>・人員不足な気がします。スタッフさんの負担が大きいです。</li> </ul>	様々なお言葉ありがとうございます。保護者の皆様には日々たくさんのご協力をいただいております。ありがとうございます。まだまだ改善すべき点も多々ありますが、皆様の信頼にこたえることができるよう努めていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いたします。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和 7年 3月 4日

事業所名 フレンズ坂東

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			
	②	職員の配置数は適切である	5	1		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6			
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1		
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	1		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	1		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	1			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6				
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6				
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6				
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6				
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1			
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6				
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6				
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6			
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				現在医療的ケアのできる職員が勤務していない為、受け入れていない	
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				現在医療的ケアのできる職員が勤務していない為、受け入れていない	
㉕		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6				
㉖		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6				
㉗		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6				
㉘		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	3			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	②9	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	4		
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	1		
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6			
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2		
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	6			
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3		
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6			



チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1		
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。